

経済学演習Ⅰ

4単位 3年(通年)

眞弓浩三・教授/社会創生学科

【授業目的】資源環境経済学について学習し、各自の卒業研究テーマを決定し、卒業論文にまとめる。

【授業概要】資源環境経済学

【キーワード】持続可能性, エコロジー経済学, エネルギー分析, 生物経済学

【履修上の注意】特にはなし。

【到達目標】生物経済学の基礎的な知識を取得するとともに、数理的な取り扱いを苦にしないで済むようにする。判りやすいプレゼンテーションができるようになる。

【授業計画】この演習では資源環境経済学を学ぶ。ただし、新古典派経済学によるアプローチはとらない。ジョージエスクレーゲンが1960年代に提唱し始めた方法論(生物経済学)にもとづき資源環境問題に取り組む。研究対象はエネルギー分析や太陽エネルギー利用技術の自立性のシステムダイナミックスモデル分析、土地の生態学的諸問題、農産物貿易やGMOの長期的な環境への影響の考察、そして古代文明没落の生態学的分析などである。3年次に基礎的文献を読み、4年次のはじめに卒業研究のテーマを決定し研究報告を順次行う。学生の進捗度に応じてフレキシブルに演習をする。英語の文献を中心にし、コンピュータ使用になれること、時間制限してプレゼンテーションすることにも慣れていただく。

【成績評価】ゼミ発表および質疑応答で成績を総合的に評価する。

【再試験】試験はしない。

【教科書】この分野は多岐にわたるので演習時に各自の興味に応じて紹介する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219421>

【連絡先】

⇒ 眞弓 (1316, 088-656-7175, mayumi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: あらかじめメールなどで相談のうえお越してください。)